

12 月 25 日 : 大型株を中心に反発

ベトナム株は水曜日に反発、大型株を中心に資金が流入し指数を押し上げた。

ホーチミン取引所の VN 指数は 0.21% 高の 960.92 ポイントで取引を終えた。

出来高は 2 億 3830 万株で売買代金にして 4 兆ドンであった。

同指数は火曜日には 0.06% 安だった。

大型株が相場の主役だった。

VN30 指数は 0.38% 高の 873.18 ポイントで取引を終えた。

VN30 指数の中では、11 銘柄が上昇し 13 銘柄は下落した。

上昇したのは、マッサングループ (MSN) (+2.2%)、ベトナム投資開発銀行 (BID)(+0.7%)、モバイルワールドインベストメント (MWG) (+2.3%)、ペトロベトナムガス (GAS)(+0.6%)、FPT(FPT)(+2%)、VP バンク(VPB)(+1.3%)、軍隊銀行 (MBB) (+1.2%)、ノバランド不動産 (NVL) (+0.9%)などであった。

一方、下落したのはビナミルク (VNM) (-0.5%)、バオベトホールディングス (BVH) (-1.3%)、ベトコムバンク (VCB) (-0.1%)、ペトロベトナムパワー (POW) (-0.8%)、ビンコムリテール (VRE) (-0.3%)、ホアファットグループ (HPG) (-0.2%)などであった。

外国人投資家は売り越し、ビンググループ (VIC) 、POW、サイゴンビール (SAB) などを売り越した。ハノイ取引所でも売り越しだった。

ハノイ取引所では HNX 指数は 0.47% 高の 102.93 ポイントで取引を終えた。

出来高は 5010 万株で売買代金にして 7620 億ドンであった。

同指数は火曜日に 0.1% 上昇していた。

バオベト証券によると、VN 指数は 960.7-961.5 ポイントの抵抗線を上限に横ばいで動くだろうとのことだった。

同指数は 968-972 ポイントへと反発する前に現在の水準を超える必要がある。セクターによってまちまちの動きになるだろうと同社は語った。

一方、ファンドの年度末の純資産の確定の為に不安定な動きになることも予想される。

株への投資比率は 3-4 割にするべきである。株への投資比率の高い投資家は比率を減らすべきと忠告した。

株への投資比率が低い投資家も、積極的な買いには動かずにさらなる相場の上昇シグナルを見極めるべきだと語った。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。